

ディスレクシア

—読み書き困難—への気づきと支援

アセスメント

—読み書き困難への支援—

2017年 1月 17日 (火) 15:00 ~ 18:00

東北大学 川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター東棟 4階 大会議室

講演・事例紹介・ワークショップ講師

川崎 聡大 KAWASAKI Akihiro (東北大学大学院 教育学研究科 准教授)

専門領域：発達障害学

研究内容：言語発達遅滞児の障害背景や指導に関する研究／発達性読み書き障害児・者のキャリア教育に関する研究／読み書き困難に関連する認知機能の研究／「心の理論課題」などの社会的判断を必要とするコミュニケーション場面に必要とされる言語機能に関する研究。

*学習障害だけでなく、発達障害や発達遅滞、小児期から成人期までの後天性障害を含めて言語障害全般を対象としています。

会話も流暢にでき、知的能力も標準域にありながら、文字情報の処理がスムーズにいかない「ディスレクシア」(読み書き困難)の存在が明らかになってきています。本人の努力不足や怠け心ではなく、脳の働きや使い方が異なるために起きる症状であることが解明されてきました。一方で、トーマス・エジソンやトム・クルーズなどの著名人もディスレクシアであったとする説もあり、各分野で才能を発揮している例も報告されています。読み書き困難を伴う学生に出会った場合、大学や大学教員はどのように対応することができるのでしょうか？

本セミナーでは、言語発達や読み書き困難等に関連する研究者であり、小学生から成人までの読み書きに関する相談に応じてきたご経験をお持ちの川崎聡大先生を講師にお迎えし、ディスレクシアの症状のシミュレーションやアセスメントの手法、事例に加え、ワークも取り入れながら大学において実施可能な対応について考えます。

大学教職員をはじめ、関心を寄せるみなさまのご参加をお待ちしています。

参加申込み方法
REGISTRATION

東北大学高度教養教育・学生支援機構 HP「イベント申込み」より Web にてお申込みください。
※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp までお申込みください。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/>

お問い合わせ先
CONTACT

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター(CPD)
TEL. 022-795-4471 E-mail. iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp

主催 東北大学 高度教養教育・学生支援機構
共催 東北大学大学院 教育学研究科